



# 鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

連絡先  
〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久 2105-1  
TEL/FAX 0995-45-7800  
<http://www.synapse.ne.jp/~aunion/krijidouren-index.htm>



携帯サイトです。ブックマークに登録を！



No. 11  
2009年3月30日

## 2009年度学童保育予算 運営費の補助単価わずかに増加

2009年度の放課後児童健全育成事業の補助単価(補助率1/3)

	入所児童数	年間開設日数			備考
		250日 (基準開設日数)	290日の場合 (開設日数加算は、1日につき13000円加算されます。300日が限度です)	特例分 (240-249日) 【2010年度廃止】	
児童数区分	10人~19人	995,000円 (前年度比5000円増)	1,515,000円	なし	・児童数は年間平均
	20人~35人	1,630,000円 (前年度比18000円増)	2,150,000円	1,651,000円 (前年度比40,000円増)	
	36人~70人	2,426,000円 (前年度比18000円増)	2,946,000円		
	71人以上 【2010年度廃止】	3,222,000円 (前年度比18000円増)	3,742,000円		
長時間開設加算	平日分	※1日6時間を超え、かつ18時を越えて開設する場合 202,000円×18時を越える時間数(前年度比3,000円増)			
	長期休暇分	1日8時間を超えて開設する場合 91,000円×1日8時間を超える時間数 (前年度比1,000円増)		なし	
市町村分	放課後児童クラブ支援事業	(1)ボランティア派遣事業(4事業) 1事業当たり 年額454,000円×事業数(前年度比13,000円増)			
		(2)放課後子どもプラン実施支援等事業 1市町村当たり 年額750,000円			
		(3)放課後児童等の衛生・安全対策事業 1市町村当たり 年額584,000円			
		(4)障害児受入推進事業 1クラブ当たり 年額1,421,000円×か所数			
都道府県等分	放課後児童指導員等資質向上事業費	都道府県・指定都市・中核市 1か所当たり 950,000円(前年度比50,000円増)			

(補助金交付要綱をもとに全国学童保育連絡協議会が作成)

### 学童保育の施設整備費の補助単価

- 施設整備費 56億6800万円(前年比33億4000万円増)
- 内訳
  - ①創設費補助(学童保育専用の施設の建設費) 補助単価2112万円(前年度比862万円増)
  - ②放課後子ども環境整備事業
    - ・放課後児童クラブ設置促進事業(余裕教室等の既存施設改修費) 補助単価700万円
    - ・放課後児童クラブ環境整備改善事業(設備整備費) 補助単価100万円
    - ・放課後児童クラブ障害児受入促進事業 補助単価100万円
- 2008年度から設置主体等制限の緩和
  - ①の補助金の対象は、市町村または、財団法人、社団法人、社会福祉法人
  - ②の補助金の対象は、市町村または、社会福祉法人その他(父母会やNPO法人も含む)
- 児童館内で学童保育を実施するための増築費 398万1000円(建築単価125万円×31.8㎡) 補助率は1/3

2/13(日)ブロック別指導員研修会(始良伊佐/ :「霧島市国分総合福祉センター」)

### 第2回鹿児島県児童クラブ連絡会 新年度を迎える指導員研修会

- 日時 2009年4月26日(日)  
9:30受付 10:00~16:00
- 会場 「霧島市国分総合福祉センター」  
3F大会議室  
(霧島市国分中央3丁目33-10  
TEL 0995-45-1557)
- 受講料 1000円(資料代含む)
- 主催 霧島市児童クラブ連絡会  
鹿児島県児童クラブ連絡協議会  
おおすみ学童保育の会
- 共催 霧島市

## 国民生活センター 「学童の安全に関する報告書」

国民安全センターは、学童保育サービスの安全対策の課題やあり方などについて検討を重ねてきています。待機児童の多さ、施設の過密化を解消するために、量的な充実を前提としたうえで、子どもの安全確保のために施設と行政へむけて、今回、5つの提言をまとめています。

- 県連絡会で取り扱っています。

頒価 1000円

下記宛にご注文をお願いします。

k-jidouren@913800.info.just.st

連絡会のブロック別研修会は、2月13日と14日開催しました。霧島市会場(13日)が80名、曾於市会場(14日)が30名の参加をいただきました。

■霧島市会場では、河野さんの問題提起を受けてのグループ討議で、講演に対する感想や日頃学童保育で悩みや苦労について率直に話せたのではないのでしょうか。

●14日は、曾於市の会場で30名の参加でした。指導員と設置者の方も参加いただき、河野さんの問題提起に、「保育」のあり方、子どもとのかかわり方については、カルチャーショックを受けた方もいらっしゃいました。

